

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校
第 191 号

総務部
2019.07.01

オープンキャンパス開催
金田一先生の講演会
若年者ものづくり競技会に出場
県内溶接コンクール
レスリング関東大会

オープンキャンパス開催

6月16日(日)、オープンキャンパスが開催されました。中学生226名・保護者180名・教員5名、合計411名と昨年度より多くの参加者がありました。本校の6学科の特徴やカリキュラム・資格取得等の説明と施設・設備の見学を行いました。中学生・保護者はメモを取りながら興味深く聞き入っていました。今回のオープンキャンパスで本校の理解が深まり、参加した中学生の進路選択の参考になれば幸いです。今後も7/13(土)と8/3(土)の2回、それぞれ希望した2学科の体験入学及び保護者・教員対象の学校説明会を計画しています。韭崎工業高校に興味・関心のある中学関係者の多数の参加をお待ちしています。



山梨県立図書館長の講演会開催

6月6日午後、本校体育館にて山梨県立図書館長、金田一秀穂先生の講演会が行われました。県立図書館主催の「贈りたい本大賞」コンクールで「学校賞」を受賞したことから、今回の講演が実現しました。演題「言葉を学ぶ」の話題にとどまらず、AIには「美しい」「おいしい」などの価値判断はできないから、看護や農業の仕事は廃れないであろうことや、今後はより人間的なものや個性が求められるというお話がされました。また、ご自身のひきこもり体験にも触れ、人と同じでなくていい、大人になれ、と本校生徒へのエールをいただきました。



最後の質問コーナーも大いに盛り上がり、途切れない質問の最後に、先生から美しい日本語で書かれた井伏鱒二や谷川俊太郎の本が紹介されました。図書委員長の北原君の謝辞にもあったとおり、定型文ではない興味深い講演に、内容もさることながら先生のお人柄が生徒の心に残ったようでした。

若年者ものづくり競技会に出場決定

5月に行われた若年者ものづくり競技会(ウェブデザイン職種)にて、情報技術科3年生 山下



雄也君が全国予選で2位という結果を残し、福岡で行われる本選へ出場することが決まりました。若年者ものづくり競技会(ウェブデザイン職種)の予選には80校が出場し、ホームページに関するデザイン性・ホームページの設計運営などを競いました。ホームページを作成するときを使う「HTML」という言語を理解するだけでなく、イラストレーターやサクラエディターなどを使いこなすスキルが必要となります

が、日頃の実習や授業の内容を今大会で活かせたと思います。

本選での上位 3 名は愛知県で行われる技能五輪へ出場することができます。山下君は、本選に向けてさらに知識・技術・技能を深め、技能五輪を目指したいと語ってくれました。

第 11 回山梨県高校生溶接競技会 8 連覇 & 7 年連続 1, 2 独占

6 月 1 日(土)に第 11 回山梨県高校生溶接競技会がポリテクセンター山梨で開催されました。この大会は一般の部も同時開催され、一般の部の大会は 52 回目を数える大会です。

高校生の大会は工業系高校 5 校、農業系総合学科高校 1 校から合計 24 名が出場し、3 枚の板を溶接し外観の美しさ、X 線検査による内部欠陥の有無、工具の使い方、不安全行動の有無などが審査されるという競技でした。結果は、3 年 6 組の大久保隆聖君(白州中出身)が優勝、2 年 6 組の有賀麗真君(甲府北西中出身)が準優勝、同じく 2 年 6 組の岳田輝介君(韮崎西中出身)が 4 位、2 年 5 組の清水陽太君(白根御勅使中出身)が 7 位となりました。8 連覇を達成できたと共に 7 年連続 1, 2 独占、そして出場者 4 名全員が入賞というすばらしい結果となりました。

今年は出場を希望する生徒がいなかったため連覇が途絶えることも考えられましたが、この 4 名が競技会 1 ヶ月前に出場を決意し、期間は短かったにも関わらず、放課後遅くまで練習を重ねた結果が 8 連覇達成という偉業に繋がりました。優勝した大久保君は、8 月に愛媛県新居浜市で行われる全国選抜大会への出場が決まっています。また、準優勝の有賀君は来年 4 月に開催される、第 11 回関東甲信越高校生溶接コンクールに山梨県代表として出場する予定です。両名とも、上位大会においても山梨県のために活躍できるように努力を重ねていきたいと決意を新たにしています。これまで応援してくださった方々に、この場を借りて御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



関東レスリング大会結果

6 月 1~2 日に第 65 回関東高等学校レスリング大会が東京都・駒沢オリンピック公園総合体育館で行われました。本校からは 9 名が出場し、その内、グレコローマンスタイルにて 5 名が決勝まで勝ち進むことが出来ました。そして 51kg 級に 2 年 3 組の山際航平君、65kg 級に 3 年 2 組の矢部晴翔君、80kg 級に 2 年 6 組の西田衛人君、92kg 級に 1 年 2 組の北脇香君の 4 名が優勝することができ、125kg 級では 3 年 3 組の篠原晃司君が惜しくも準優勝という結果でした。



また、矢部晴翔選手は全試合ともテクニカルフォール勝ちとフォール勝ち、無失点での優勝ということで、グレコローマンスタイルの最優秀選手賞にも選ばれました。昨年の関東大会は、優勝者ゼロに終わってしまいましたが、今年は、4 階級優勝というこの勢いを夏の全国大会まで保つべく、練習を積んで臨みたいと思います。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp